

■型・組手、両大会における共通の注意事項

重 要

◆ 国際空手道連盟・極真会館では「武道空手」の名に相応しい品格のある大会を目指しています。よって、以下のような事項は禁止しますので、選手、保護者、応援者とも熟読の上、お守りください

- 1、男子の茶髪、装飾（イナズマ等のライン含）は認めません。
女子部においても、金髪に近い様な染色は認めません。
- 2、道着に過度の刺繍等が付いているものは認めません。
胸の「極真会」の刺繍以外は、袖のワッペンと裾の名前の刺繍のみ可とします。
それ以外は白色テーピングなどで隠してください。
（道着は特攻服ではありません。過度な装飾は認めません。）
- 3、帯の結び目を、解れ防止の為に輪ゴムやテーピングで止めている場合がありますがこの行為は禁止いたします。
試合前に発見した場合は、審判員が取り外す場合があります。
（試合場は稽古の延長線上にあるものと考えます。ある程度の学年になったら解けないようにしっかり縛るか、解けた場合は速やかに縛れることを指導してください。）
上記事項を守っていただけない場合は、当日、失格処分もありえます。
- 4、コート周辺で騒いだり、ふざけたりしないようにしてください。
特に型試合の際は、静粛をお願いします。
- 5、武道の大会に相応しくない粗暴な行為、ヤジ等があった場合は、主催者の判断で退場いただくこともあります。
- 6、1階試合場内での飲食は禁止いたします。
- 7、選手のアップは、周囲に迷惑がかからないように行ってください。
- 8、選手は、自分の試合の開始5試合前には、コート近辺に控えてください。
- 9、判定に対する抗議は一切認めません。
- 10、会場内は、稽古の一環である試合を行う場です。
節度ある行動をお願いいたします。
- 11、試合終了時、判定時の「雄叫び」は禁止です。
試合内容以外のアピール行為とし、注意もありえる。
- 12、諸注意が守られない場合は、主催者判断で失格もありうる。

■第13回 全日本極真空手道「型」選手権大会■

[式 次 第] 令和7年4月19日

◇ 開 場

午前12時00分

◇ 開 会 式

午後12時30分

国 旗 掲 揚
大 会 会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
大会最高審判長挨拶
審 判 長 注 意
選 手 宣 誓

◇ 試 合 進 行

午後1時00分

団体戦試合開始
(一般クラス以外は決勝まで各コートで施行)

午後2時30分

個人戦試合開始
(一般クラス以外は決勝まで各コートで施行)

午後6時00分

決勝戦開始
(団体一般、一般女子、一般男子)の順

◇ 閉 会 式

午後6時30分

表 彰 式
大 会 会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
大会最高審判長総評
記 念 撮 影

■ 型試合「指定型・選択型」 一覧 ■

(個人 戦 ・ 団 体 戦 共)

★出場人数によっては、下記以外の選択・指定の区分になる事もあります

(グレー部分は、2名同時実施。詳細はトーナメント表開示時に記載)

年齢区分		白	橙	青～黄	緑以上
幼年の部 (小2まで)	1回戦 指定	太極Ⅰ	太極Ⅲ	平安Ⅰ	「少年の部」に包括 (試合規定は同様)
	2回戦 指定	太極Ⅰ	平安Ⅰ	平安Ⅱ	
	準決勝まで 指定	太極Ⅲ	平安Ⅰ	平安Ⅱ	
	決勝 選択	太極Ⅰ ～Ⅲより	太極Ⅲ、 平安Ⅰより	(青)平安Ⅰ～Ⅱ (黄)平安Ⅰ～Ⅲ、 撃砕大より	

年齢区分		白	橙	青	黄	緑
少年の部 (小3～小6) 中学の部 一般の部 (高校以上) マスターズ (42歳以上)	1回戦 指定	太極Ⅰ	太極Ⅲ	平安Ⅰ	平安Ⅱ	平安Ⅱ
	2回戦 指定	太極Ⅰ	平安Ⅰ	平安Ⅱ	平安Ⅲ	平安Ⅳ
	準決勝まで 指定	太極Ⅲ	平安Ⅰ	平安Ⅱ	撃砕大	撃砕小
	決勝 選択 (右記より)	太極 Ⅰ～Ⅲ	太極Ⅲ、 平安Ⅰ	平安 Ⅰ、Ⅱ	平安Ⅰ～Ⅲ 撃砕大	平安Ⅰ～Ⅳ 撃砕大・小 突きの型、安三

年齢区分		茶帯	黒帯
中学の部 一般の部 (高校以上) マスターズ (42歳以上)	1回戦 指定	平安Ⅱ	平安Ⅱ
	2回戦 指定	平安Ⅴ	平安Ⅴ
	3回戦 指定	撃砕小(マスターズは撃砕大)	撃砕小(マスターズは撃砕大)
	準決勝 選択 (黒帯)	撃砕小(マスターズは撃砕大)	平安Ⅱ～Ⅴ、安三、十八、 突きの型、撃砕大・小、最破、 臥竜、征遠鎮より
	決勝 選択	平安Ⅱ～Ⅴ、安三、突きの型、 撃砕大・小、十八、最破より	上記に、五十四歩、観空を 加えた中より (準決勝とは別の型)

■ トーナメントに関する注意 ■

★個人戦クラス分けについて

- 1、個人戦
全クラス男女別（参加人数によっては統廃合あり）

★団体戦について

- 1、団体戦は、男女混合も認める。
- 2、「年齢」や「帯色」が混合の場合は、それぞれ上位のクラスに組み込まれる。
例）…『小5・中学・高校』のチームなら、『一般（高校以上）の部』に。
『幼年オレンジ帯・幼年黄帯・少年緑帯』のチームなら、『少年の部 緑以上』に。
- 3、「幼年と少年」、「少年と中学生以上」の混合チームは可。
ただし、「幼年と中学生以上」の混合チームは不可。
- 4、マスターズの部は、マスターズ以上のクラスに該当する選手のみで構成する事。
ただし、マスターズの部から一般の部に参加することは可。

■ 型大会 ルール説明 ■

- ・ 1対1のトーナメント形式で行う。
- ・ 審判による判定で勝敗を決する。
- ・ 1回戦から準決勝戦までは、主催者指定の型を2名同時に行う。
決勝は自己申告で、指定された型の中から一つ、任意の型を行う。
（出場人数によっては、上記の限りではない。団体戦は、全ての試合でチーム別に行う）
- ・ 延長の場合、主審の裁量で1回の試合中で、2種以上の型を行うこともある
- ・ 延長の場合、規定型以外の型を行う場合があります。
（例・オレンジ帯なら「太極」といった、その帯の取得するに必要な型）。
- ・ 延長戦で完全決着。再延長無し。

■第5回全日本少年少女極真空手道選手権大会■
■第4回 全日本マスタース極真空手道選手権大会■
■第13回 東日本極真空手道選手権大会■

(進行時間は予定です。ご了承ください)

[式 次 第] 令和7年4月20日

◇ 開 場 08:30

◇ 開 会 式 09:00

国 旗 掲 揚
大 会 会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
大会最高審判長挨拶
審 判 長 注 意
選 手 宣 誓

◇ 試 合 進 行 09:30

【各大会試合開始】

各コート・各クラス1回戦 ～ 決勝戦
(Aコートの一部の試合の決勝戦は
他コートの試合が終了後に行います)

◇ 閉 会 式

17:00

表 彰 式
大 会 会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
大会最高審判長総評
記 念 撮 影

【 試 合 時 間 】

～全日本マスタース～

	本戦	延長 1 回目	体重判定有効体重差 (軽い方の勝ち)	延長 2 回目 (引き分け無し)	着用義務 サポーター
女子マスタース 各クラス	1 分 3 0 秒	1 分	3 k g 以上	なし	義務：拳サポ (女子のみ)・ 脛サポ・ ファウルカップ (女子は任意)
ヤングマスタース	2 分	1 分 3 0 秒	5 k g 以上	なし	
マスタース グランドマスタース	1 分 3 0 秒	1 分	5 k g 以上	なし	膝サポは男女 ともに任意

～全日本少年少女大会～

	本戦	延長 1 回目	体重判定 (軽い方の勝ち)	延長 2 回目 (引き分け無し)	着用義務 サポーター
幼年 ～中学生	1 分 3 0 秒	1 分	3 k g 以上 (幼年は 2 kg)	なし	脛・拳サポ ヘッドガード ファウルカップ
高校生	2 分	1 分 3 0 秒	5 k g 以上	なし	脛・拳サポ ファウルカップ

～東日本大会～

(男女マスタース初級各クラスの試合時間は全日本大会に準拠)

	本戦	延長 1 回目	体重判定有効体重差 (軽い方の勝ち)	延長 2 回目 (引き分け無し)	着用義務 サポーター
幼年・小学生 中学生	1 分 3 0 秒	1 分	無し 高校生以下は延長 1 回目で完全決着	なし	ヘッドガード 脛・拳サポ ファウルカップ (女子は任意)
高校生	2 分	1 分 3 0 秒		なし	脛・拳サポ ファウルカップ (女子は任意)
一般女子 一般初級・中級	2 分	1 分 3 0 秒	5 k g 以上	1 分 3 0 秒	
一般上級	2 分	2 分	5 k g 以上	2 分	ファウルカップ のみ
一般上級 (準決勝以上)	3 分	2 分	再延長 2 分	体重判定 5 k g 以上	

注) 体重判定で有効体重差が無い場合は、延長戦の時間で、完全決着の再延長を行う。
一般男子の準決勝戦以降（出場人数によっては決勝のみ）、延長 2 回目後の体重判定で有効体重差が無い場合は、最終延長（引き分け無し）を行う。

各クラスとも、拳サポ・脛サポ・ファイルカップ着用義務。ヒザサポーターは任意。

（体格的にファウルカップ着用が困難な場合は、その限りではありません。ただし、
カップ無装着に際しての負傷などに関しては、主催者は責任を負いません）。

★全クラス、拳は『拳サポのみ』といたします（無地もしくは華美な装飾の無い物）。

女子のチェストガードは、ブラタイプ・胸部だけ・ウレタン製の物のみ可（プラスチック製不可）。
それぞれ、別ページの画像付き説明を参照。

組手試合ルール説明（国際空手道連盟ルールが原則）

- ・有効技 手技による攻撃、足技による攻撃（反則箇所を除く）
- ・技有り 有効技による攻撃で、ダウンまたは戦意喪失した場合
- ・一本勝ち 有効技のよる攻撃で、ダウンまたは戦意喪失が 3 秒以上続いた場合
- ・判定勝ち 主審・副審の判定で、過半数以上の旗が上がった場合

- ・反則技 手による顔面（首から上）への攻撃（蹴り技は有効）
金的への攻撃
道着、髪の毛を掴んで（もしくは引っ掛けて）の攻撃
蹴りによる膝関節への正面からの攻撃
背後からの攻撃
倒れた相手への攻撃、戦意喪失した相手への攻撃

東日本大会の幼年・少年・中学の初級クラスは上段ヒザ蹴り
及び上段前蹴り上段横蹴り禁止（ただし、一般男子初級は除く）

- ・注 意
減 点
失 格 反則による注意が 2 つで減点 1。減点 2 になった場合は失格。
雄叫び、反則への過度のアピールは注意・減点・失格もありえる。
粗暴な態度や言動があった場合は、即刻の減点・失格もありうる。
入場時、床を踏みつける恣意的行為は禁止します。
不必要な「決め」動作でのアピールで試合進行を妨げた場合は注意もありうる。

組手試合 サポーター・防具に関する注意点

(いずれの物も、形式が合致すればメーカーを問いません。清潔な物のご使用をお願いします)

☆ヘッドガード (白色推奨)

前面に、樹脂製もしくは金網製の前面ガードが付いているタイプ



☆手足サポーター (ヒザは任意) ウレタン製。グローブは不可。



☆女性用胸部サポーター

スポーツブラタイプで、インナーはウレタンパッドのみ (プラスチックは不可)



☆試合に際し、帯に通す赤紐

百均や Amazon で購入可。画像の様な長さで。紛失予防の為の氏名以外は、道着と同様で装飾・刺繍は認めません

